

ワークショップ【自分たちの活動から生まれるインパクト】

ゲストトークや基調講演を経て、あらためて高校生たちは自分たちの活動を見つめ直しました。翌日はチームとして自分たちの活動を発表しますが、この日は違う学校の生徒に、一人で自分たちの活動を説明しました。地域や課題は違いますが、同じように環境活動に取り組む同世代の仲間たちと話すこの機会に、初めのうちは緊張していた高校生たちも、最後は自分たちの活動について自信を持って話し、また相手の活動にも耳を傾け、たたえ合っていた姿が印象的でした。



ファシリテーター

一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)
代表理事

辰野まどか氏



高校生の感想

- 卒業しても地域に貢献していきたい。
- たくさんの人と交流する中で自分たちの研究を改めて考えさせられることがあっていい経験になった。
- 自分が行っている研究を発表しあうことにより、興味を持つことができたり、いろいろな視点で考えることができた。
- 考え方、環境に対しての見方、そして今問題視しているものが違い、良い経験になったとともに、新しい見方や知識が身についた。
- 思った以上に自分たちの活動に興味を持ってくださり、他の高校の方と活動を話し合うことが少ないので、良い経験になった。
- いろんな考えや意見を持った人たちがたくさん集まって話すことができたので、自分の考えにプラスすることができた。
- 各グループごとの話し合いで誰も知り合いがない中話せるのかすごく不安だったが自分の意見も言え、最後には緊張も取れるくらいの雰囲気になった。



フォーラム終了後 記念撮影